

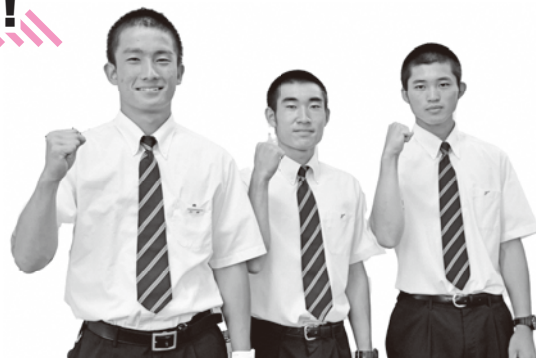
東明館 V 甲子園初出場！！



第103回 全国高等学校野球選手権佐賀大会優勝！

7月25日（日）、佐賀市さがみどりの森球場で第103回全国高等学校野球選手権佐賀大会決勝が行われ、東明館高等学校が見事優勝に輝き、初の甲子園出場を決めました！

7月27日（火）には、学校法人東明館学園の黒木 忠好校長をはじめ、東明館高等学校野球部の古賀 洋部長、豊福 弘太監督、野球部員の加藤 晴空主将、副島 颯太さん（基山中学校出身）、飛松 翔平さん（基山中学校出身）が優勝の報告に、町長を訪問されました。ここでは、基山町と三養基郡町村会からの目録が贈呈されました。



△左から加藤 晴空主将、
副島 颯太さん、飛松 翔平さん



△基山町から加藤主将へ目録贈呈



△左から古賀部長、豊福監督、黒木校長、三養基郡町村会会長武廣上峰町長
(右から3番目)



豊福監督

佐賀大会では、部員たちが1戦1戦成長しながら勝ち上がっていく姿、そして精神的な強さを見せてくれた。「甲子園で一勝しよう」という目標のもと日々グラウンドで汗を流してきた、その結果が大会優勝につながった。

優勝インタビューの時の「(甲子園は) 行きたい場所ではなく、行かないといけない場所になった」という加藤主将の言葉を肝に銘じて、色んな方々に影響を与えられるような、はつらつとしたプレーで一勝したい。(取材日時：令和3年7月27日)

初の甲子園出場
おめでとうございます!!



加藤主将

佐賀大会では沢山の方に応援していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。これから佐賀県の代表として甲子園に行く中で、まずはこのようなご時世で野球ができることに感謝したいです。そして甲子園までの期間で、まだまだチームは成長できると感じているので、日ごろの生活から見直し、甲子園ではもう一段階強くなった姿を見せたいです。「甲子園で一勝」という目標を達成できるように頑張ります！(取材日時：令和3年7月27日)

